

# EMP-X5 セットアップガイド

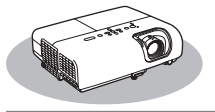


## - 目次 -

設置しよう	2
映像機器と接続しよう	3
電源を入れ投写しよう	4
説明書の構成	7
異常 / 警告時のインジケータ表示一覧	8

## 一同梱品をご確認ください

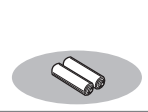
プロジェクター本体



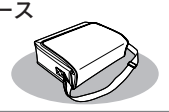
リモコン



単 3 形マンガン乾電池



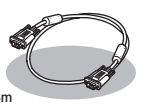
ソフトキャリング  
ケース



電源ケーブル



コンピュータケーブル



パスワードプロテクト  
シール



## ドキュメント類

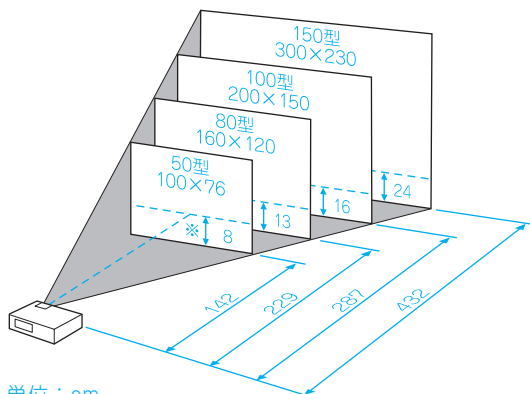
- 安全にお使いいただくために / サポートとサービスのご案内     セットアップガイド (本書)
- Document CD-ROM     お客様情報 + 正式保証書発行カード

万一、不足や不良がありましたら、お手数ですがお買い求めいただいた販売店までご連絡ください。

# 1 設置しよう

## ① スクリーンに映像が最適な大きさに映るように設置してください。

本機のレンズからスクリーンまでの距離により映像のサイズが変わります。図中の値は目安です。投写距離の詳細値は『取扱説明書』「スクリーンサイズと投写距離」



単位：cm

※レンズ中心からスクリーン下端までの高さ



注意

本機の吸気口・排気口をふさがないでください。吸気口・排気口をふさぐと、内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。

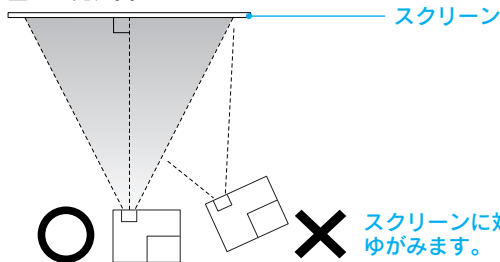


ポイント

台形補正後は画面サイズが小さくなります。

## ② 本機をスクリーンに対して平行に設置してください。

上から見た図



スクリーンに対して本機を斜めに設置すると映像が台形にゆがみます。

注意

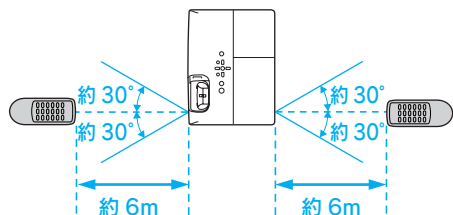
本機を縦置きや下向きの状態で投写しないでください。故障の原因となります。

## ● リモコンの準備 ●

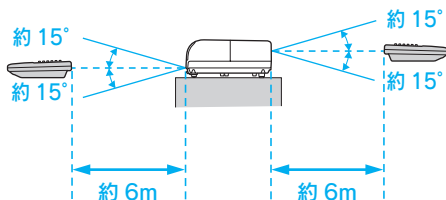
リモコンをお使いになる前に同梱の電池をセットしてください。

● 『取扱説明書』「リモコンの電池の交換方法」

操作可能範囲（左右）



操作可能範囲（上下）



## 2 映像機器と接続しよう

### コンピュータとの接続



音声出力  
端子へ



コンピュータケーブル  
(同梱品・オプション)

オーディオケーブル  
(市販品)

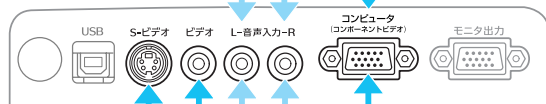
注意

- 接続機器の電源を切ってください。電源が入った状態で接続すると、故障の原因になります。
- プラグの向きや形状が異なった状態で無理に押し込まないでください。機器の破損や故障の原因になります。



ポイント

- 接続する機器が特有の端子形状をしているときは、その機器に同梱またはオプションのケーブルで接続します。
- 市販の2RCA(L・R)/ステレオミニピンオーディオケーブルを使うときは「抵抗なし」と表記されているものをお使いください。



### ビデオ機器との接続



DVD プレーヤー、  
VHS ビデオ、  
BS チューナ、  
CS チューナ、  
RGB コンバータ、  
ビデオ分配器等

ビデオケーブル  
(市販品)

S-ビデオ  
ケーブル  
(市販品)

S 映像  
出力へ

オーディオケーブル  
(市販品)

映像出力  
へ

音声出力  
端子へ

D 端子ケーブル  
(オプション)

D1 ~ D4  
出力へ

コンポーネント  
ビデオケーブル  
(オプション)

コンポーネント  
出力へ

※ 接続機器側の端子名の表記は、各機器によって異なることがあります。

# 3 電源を入れ投写しよう

**1** レンズカバーを開きます。

投写中はレンズをのぞかないでください。

**2** 電源ケーブルを接続します。

**3** 接続機器の電源を入れます。

**電源インジケータの見方**

● 点灯    ☀ 点滅

**オレンジ スタンバイ**

● 点灯    ⏻ を押すと投写を開始します。

**緑 ウォームアップ中**

● 点滅    ⏻ を押しても無効になります (約 30 秒)。

**緑 投写中**

● 点灯    ⏻

**4** 本機の電源を入れます。

**ON**

**ピッ**

操作パネルの場合    リモコンの場合

💡 **ポイント**

- 「ダイレクトパワーオン」を「オン」にすると電源ケーブルを接続するだけで電源が入ります。
- 標高約 1500m 以上の地域でお使いになるときは、「高地モード」を「オン」にしてください。

👉 『取扱説明書』「拡張設定メニュー」

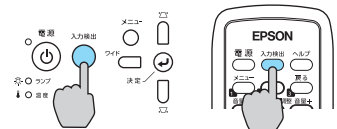
## ●映像が投写されないとき●

### ■ノートタイプや液晶一体型コンピュータの場合

▶ スクリーン左下に「ビデオ」と表示されている場合

入力ソースをコンピュータに切り替えます。

操作パネルの場合    リモコンの場合



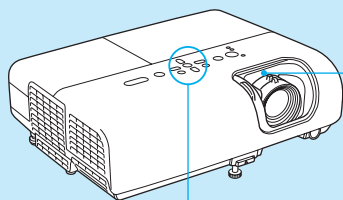
それでも投写されないときは

▶ スクリーン左下に「コンピュータ」と表示されている場合

コンピュータ側で映像信号の出力先を切り替えます。👉 コンピュータの『取扱説明書』切り替え後、しばらくすると投写されます。

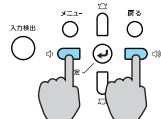
出力切り替えの一例			
エプソン	<b>Fn</b> + <b>F8</b>	東芝	<b>Fn</b> + <b>F8</b>
NEC		IBM	<b>Fn</b> + <b>F7</b>
松下	<b>Fn</b> + <b>F3</b>	SONY	<b>Fn</b> + <b>F7</b>
SOTEC		DELL	<b>Fn</b> + <b>F8</b>
HP	<b>Fn</b> + <b>F4</b>	富士通	<b>Fn</b> + <b>F10</b>
Macintosh	ミラーリングの設定、またはディスプレイの検出を行う。OSによっては、 <b>F7</b> で切り替えることができます。		

●投写状態や音量を調整するには●  
(はじめて設置するときや持ち運んでお使いになる方へ)



■音量調整

操作パネルの場合



リモコンの場合



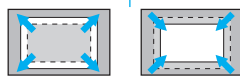
本体操作パネルでは ◀▶ 側を押すと音量が上がり、◀◀ ▶▶ 側を押すと下がります。音量は環境設定メニューでも調整できます。

👉 『取扱説明書』「設定メニュー」


■ピント(フォーカス)調整



■ズーム調整

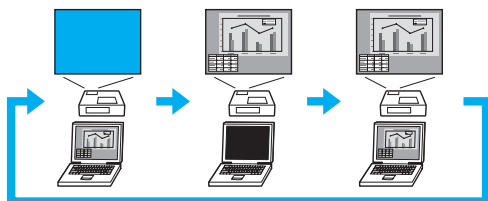


大きくなる 小さくなる

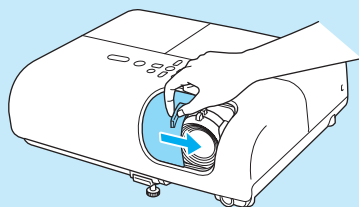
※ビデオ機器の場合は、再生状態にしてから  を押します。

コンピュータによっては、次のように入出力切り替えのキー操作を行うたびに表示状態が変わるものもあります。

コンピュータのみ    スクリーンのみ    両方

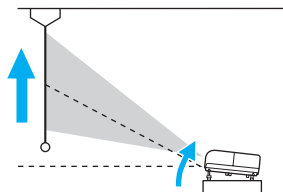


●レンズカバーの便利な機能●



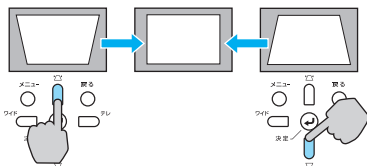
- 投写中にレンズカバーを閉めると、映像と音声を消すことができます (A/V ミュート)。
  - 「レンズカバータイマ」を「オン」にしておくと、レンズカバーを閉じてから約 30 分後に自動で電源を切ります。
- 👉 『取扱説明書』「拡張設定メニュー」

## ■映像の台形ゆがみを補正する（台形補正）



本機を傾けると映像が台形状にゆがみます。  
台形ゆがみは次の操作で補正します。

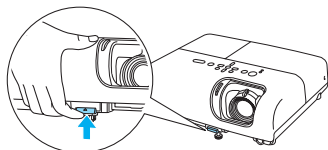
上辺が広いとき    正常    底辺が広いとき



本機の傾斜角度が上下に約 30° までであれば補正できます。

自動台形補正は本機をフロントフットで傾けたときだけ約 10° まで補正します。

傾斜角度が大きくなると、ピントが合いにくくなります。傾斜角度が小さくなるように設置してください。





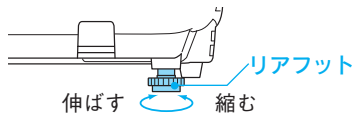
フロントフットで調整します。上方向に最大 10° まで傾けられます。

※持ち運ぶときにはフロントフットを必ず収納してください。




ポイント

- 環境設定メニューで「自動台形補正」を「オフ」に設定していると、自動台形補正は行いません。
- 台形補正は環境設定メニューでも調整できます。  
☛ 『取扱説明書』「設定メニュー」
-  を押したまま  を 1 秒以上押し続けると、補正値が初期値に戻ります。
- 水平方向の傾きは左のリアフットで調整します。




## ●電源を切り終了するには●

- ① 接続している機器の電源を切ります。
- ② リモコンまたは操作パネルの  を 2 回押します。
- ③ 「ピッピッ」と鳴ったら、電源ケーブルを抜きます。
- ④ レンズカバーを閉じます。

※終了後すぐに電源を入れ直した場合は、投写までの時間が通常より長くなります。



ポイント

- 投写中に「警告」が出たときは、電源オフ時に「クールダウン」を行うため、すぐに電源ケーブルを抜けません。
- 「高地モード」を「オン」に設定しているときや、「設置モード」を「フロント/リア・天吊り」に設定しているときは電源オフ時に「クールダウン」を行います。
- 電源ケーブルを抜いても  インジケータがしばらく点灯したままになることがあります。故障ではありません。

# 説明書の構成

本機には次の説明書が添付されています。以下の順番でお読みください。

本機を安全に正しくお使いいただくために、添付のマニュアルをよくお読みください。不明な点をいつでも解決できるように、その後はすぐに見られる場所に大切に保存してください。

①



## 『安全にお使いいただくために / サポートとサービスのご案内』

本機を安全にお使いいただくための注意事項やサポートとサービスのご案内が記載されています。本機をお使いいただく前に必ずご覧ください。

②



## 『セットアップガイド』(本書)

本機を使い始めるまでの準備（同梱品の確認・設置・コンピュータやビデオ機器との接続）と投写開始時の基本操作について記載しています。

③



## 『取扱説明書』(PDF)

便利な機能、環境設定メニューの使い方、困ったときの対処方法、お手入れの方法などについて記載しています。

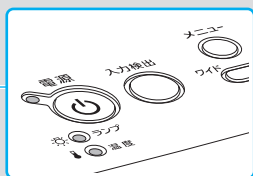
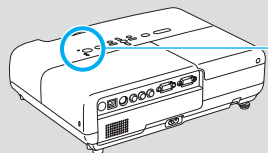
※ Document CD-ROM には、PDF 版の『安全にお使いいただくために / サポートとサービスのご案内』と『セットアップガイド』も収録されています。

## ● Document CD-ROM 内の説明書の見方 ●

コンピュータの電源を入れ、CD-ROM ドライブに Document CD-ROM をセットします。

Document CD-ROM に収録されている PDF マニュアルのバージョンは PDF1.3 です。この PDF マニュアルをご覧いただくには、Acrobat Reader4.0 以上または Adobe Reader が必要です。

## 異常 / 警告時のインジケータ表示一覧



詳細は ● 『取扱説明書』 「困ったときに」

- : 点灯
- ⦿ : 点滅
- : 消灯
- : 本機の状態により異なる場合

<ul style="list-style-type: none"> <li>● 赤</li> <li>⦿ 赤</li> <li>● 赤</li> </ul>	内部異常	電源プラグをコンセントから抜き、修理を依頼してください。
<ul style="list-style-type: none"> <li>● 赤</li> <li>○ 赤</li> <li>⦿ 赤</li> </ul>	ファン異常 センサ異常	
<ul style="list-style-type: none"> <li>● 赤</li> <li>● 赤</li> </ul>	内部高温異常 約5分間そのままの状態待ち、電源プラグをコンセントから抜きます。	次の2点を確認してください。 ・壁際に設置しているときは場所を移動します。 ・エアフィルタの掃除または交換をします。
<ul style="list-style-type: none"> <li>● 赤</li> <li>⦿ オレンジ</li> </ul>	高温警告	
<ul style="list-style-type: none"> <li>● 赤</li> <li>○ 赤</li> </ul>	ランプ異常 / ランプ点灯失敗 / ランプカバー開放状態	次の3点を確認してください。 ・ランプを取り出しランプ割れを確認し、割れていなければ再セットして電源を入れます。割れているときは、お買い上げの販売店または下記の連絡先にご相談ください。 ・ランプカバーやランプが確実に取り付けられているか確認してください。 ・エアフィルタを掃除します。
<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 赤</li> <li>○ 赤</li> </ul>	ランプ交換勧告	すみやかに、新しいランプと交換してください。このまま使い続けると、ランプが破裂するおそれがあります。

※上記の対処を行ってもエラーになるときは、電源プラグをコンセントから抜きお買い上げの販売店または下記の連絡先に修理を依頼してください。

エプソンサービスコールセンター

**KDDI** **ダイレクト 050-3155-8600** 【受付時間】月～金曜日 9:00～17:30 (祝日・弊社指定休日を除く)

\*一部のPHS、IP電話事業者からはご利用いただけません。(042) 511-2949までお電話ください。